

Generous by nature



Hauts-de-France
Tourisme

オー・ド・フランス地方観光局

プレス資料



Région

Hauts-de-France



Londres
ロンドン

ドーバー
Douvres

ダンケルク
Dunkerque

カレー
Calais

ブローニュ・シュル・メール
Boulogne/Mer

Le Touquet-Paris-Plage
ル・トゥケ・パリ・プラージュ

オバール海岸
Côte d'Opale

ソンム湾
Baie de Somme

Lille
リール

Lens
ランス

Arras
アラス

ティエバル
Thiepval

Amiens
アミアン

Saint-Quentin
サン・カンタン

Rouen
ルーアン

Beauvais
ポーヴェ

Laon
ラン

Chantilly
シャンティイ

Parc Astérix
アステリックス・パーク

シャトー・ティエリ
Château-Thierry

Reims
ランス

Paris
パリ



Hauts-de-France
Tourisme

※オー・ド・フランス地方の Lens (ルーヴル・ランス別館がある町)とシャンパーニュ地方の Reims (歴代フランス王が戴冠された大聖堂がある都市)は、どちらも日本語カタカナで「ランス」と表記されますが、別の場所です。



1

地方を象徴する都市で 文化の薫りに浸る

リールとアミアン、オー・ド・フランスの
至宝というべき街へ



2

現代性と再生

現代建築と変容する史跡



3

伝統技術が織りなす食の芸術

地域の食とビール文化



4

大自然に抱かれて

緑と触れ合う観光ルートと独自の生態系



5

絶景

壮大な景観と心に響くひととき



6

イベントとお祭り

2025年の見どころ



地方を象徴する都市で文化の薫りに浸る

リールとアミアン、オー・ド・フランスの至宝というべき街へ



LILLE リール

フランドルの伝統と欧州の創造性が
出会う場所



歴史性豊かなヨーロッパの十字路

パリ、ブリュッセル、ロンドンとの交差点に位置するリールは、歴史とモダンさの双方を求める旅行者を惹きつけてやみません。かつてこの都市は、フランドル伯領の支配下における主要な商業の中心地でありましたが、現在は伝統と革新性が出

会う文化的な十字路となっています。リールを訪れた人は、何世紀もの歴史が息づくなかにも、モダンな芸術や現代建築が調和する世界に引きこまれます。数多く開かれるフェスティバルやイベントも、リールをより知る手助けとなるでしょう。

リール旧市街、歴史を秘めた至宝が眠る場所

リール旧市街 Vieux-Lille は、石畳みの小道や、17世紀のカラフルなファサードが楽しめる町の象徴的な地区です。段々状の切妻屋根と細かな装飾が施された建物からは、フランドル文化の遺産と豊かな建築伝統が感じられます。ここでは、街角という街角が歴史的な細部を物語っています。ガーゴイルの装飾がある扉や、切石のファサード、趣きある店が並ぶ細い路地などが特徴です。冬場、グラン・プラス Grand-Place 広場でのリールのクリスマス市開催は、祝祭に溢れた雰囲気の中、旅行者が地元の工芸やご当地グルメに出会える素敵な期間です。



グラン・プラスと旧証券取引所

グラン・プラス Grand-Place は、ド・ゴール 将軍広場 Place du Général-de-Gaulle とも呼ばれており、フランドル・バロックの影響を受けた建物が建ち並んでいます。広場では一年を通して、文化的なイベントや集いが開催されています。リール建築の至宝の中でも、旧証券取引所 Vielle Bourse の建物は中庭に大きな特徴があり、古書市や屋外チェス開催の場となっていて、夏にはタンゴのパフォーマンスも行われています。1652年に建設されたこの建物は、町の繁栄の象徴であり、歴史的遺産と日常の活気が交わる場でもあります。

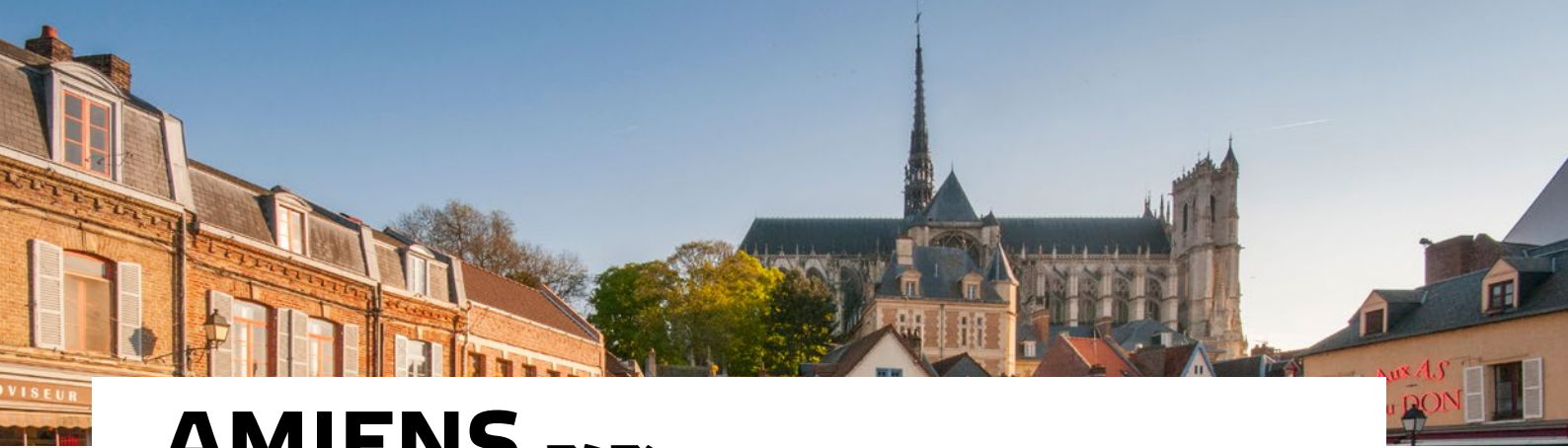
文化とイベント：リール 3000 とリール古物市

2年おきに開催されるリール 3000 (Lille 3000) は、コンテンポラリーアートのインスタレーションや、大道芸、プロジェクションマッピングなどによる国際的な芸術体験を提案し、町全体を生き生きとしたアートギャラリーに変化させています。リール古物市 Braderie de Lille は、ヨーロッパで最も規模の大きな蚤の市で、毎秋、世界中から数百万人の観光客が訪れています。初めて開催されたのは12世紀でした。古物市は商業的なお祭りイベントで、数千店のスタンドが立ち並び訪問客はそこで掘り出し物を探したり、名物のムール・フリットに舌鼓を打ったりできます。地域の和気あいあいとした雰囲気象徴です。この伝統的イベントは、お祭り精神と町の古い歴史の両方を調和させています。



リール美術館：文化的至宝

リール美術館 Palais des Beaux-Arts de Lille はフランス最大の美術館の一つで、ルネッサンス、バロック、近代のそれぞれの時代の作品 72,000 点を収蔵しています。ルーベンス、ドラクロー、マネの傑作の数々が、彫刻やアール・デコの作品とともに展示されています。常設展に加え、「美の宮殿」では世界中の美術愛好家を魅了するような名高い特別展も開催されています。



AMIENS アミアン

建築的傑作と水上庭園

アミアンのノートルダム大聖堂：ユネスコ世界遺産登録のゴシック建築の名作

アミアンの精華であるノートルダム大聖堂 Cathédrale Notre-Dame d'Amiens は、フランスを代表するゴシック建築の一つであり、その荘厳な姿は訪れる人を圧倒します。全長 145 メートル、身廊のヴォールト（アーチ）の高さは 42 メートルにも及びます。西側の入り口は精巧な彫刻で聖書の場面を表しており、そのリアリズムと表現力に魅了されます。毎年夏に開催される光のショー「クローマ Chroma」では、プロジェクションマッピングを通じて中世の華やかな大聖堂の姿を現代に蘇らせます。



水上庭園「オルティヨナージュ」：独自の生態系

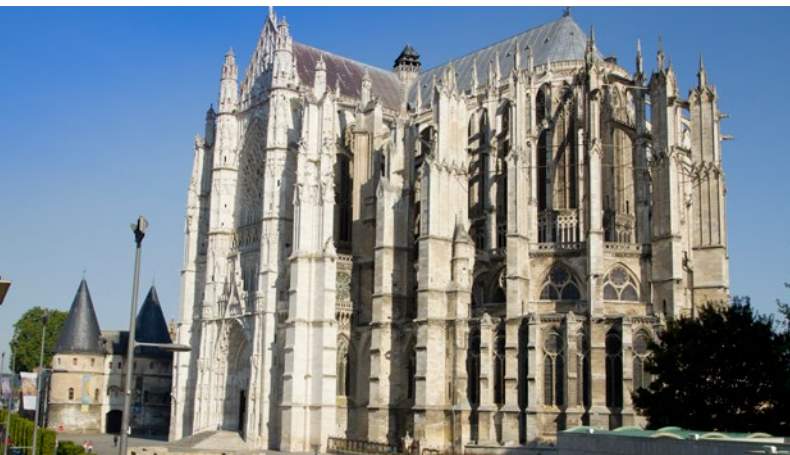
アミアンのオルティヨナージュ Hortillonnages は 300 ヘクタールに広がる水上庭園で、地元の野菜農家が手入れをしています。中世に作られたこの庭園は、小舟でアクセスでき、四季折々に変化する色鮮やかな風景を楽しみながら、自然の中に身を委ねることができます。毎年行われるオルティヨナージュ・フェスティバル Festival des Hortillonnages は、庭園がインスタレーションによって現代アートの舞台へと変貌し、自然を愛する人々を惹きつける壮観なショーを楽しむことができます。

ジュール・ヴェルヌの家：幻想世界への旅

SF 作家ジュール・ヴェルヌは、人生の大部分をアミアンで過ごしました。ヴェルヌの家 La Maison Jules Verne は現在、博物館として公開されており、遺品や手稿、彼の有名な小説『地底旅行』や『海底二万里』の挿絵などが展示されています。ヴェルヌの熱心なファンである日本人にとって、この博物館は、科学と文学が創造的に融合するインスピレーションの宝庫です。



他の注目すべき街とその魅力



BEAUVAIS ポーヴェ

未完成ながらも、世界で最も高いゴシック様式の内陣（48.5メートル）を誇るポーヴェのサン・ピエール大聖堂 Cathédrale Saint-Pierre は、中世建築の傑作です。また、この街は17世紀からその技術を継承してきたタピスリーの工房があることでも有名です。

LAON ラン

「王冠をいただく山 Montagne couronnée」として知られるラン。ピカルディ平原を一望できる高台に、荘厳な大聖堂がそびえ立っています。中世の城壁や石畳の小道が、歴史の息吹を感じさせるような雰囲気醸し出しています。



ARRAS アラス

「ベルギーとフランスの鐘楼群」の一部としてユネスコの世界遺産に登録された二つの鐘楼と、フランドル・バロック様式の建物が並ぶ広場を有するアラスは、その独特な建築様式と、第一次世界大戦の舞台でもあるウェリントン坑道 Carrière Wellington を通して、豊かな歴史的背景を物語っています。



CHANTILLY シャンティイ

シャンティイは、その王室と芸術の魅力によって、ぜひ訪れるべき街として知られています。壮麗な庭園とルネサンス様式の建築が特徴的な**シャンティイ城** Château de Chantilly は、絢爛豪華な庭園とルネサンス様式の建築が特徴で、フランスでも屈指の美しい城の一つです。城内にある**コンデ美術館** Musée Condé は、ラファエロ、ヴァトー、プッサンといった巨匠たちの絵画をはじめとする、数々の貴重な美術品が収蔵されています。



2 現代性と再生 現代建築と変容する史跡

LE LOUVRE-LENS ルーヴル・ランス

日本のエスプリで蘇った産業遺産



「ノール・パ・ド・カレの炭田地帯」でユネスコの世界遺産に登録されている炭鉱地帯の中心に、ルーヴル美術館のランス別館「ルーヴル・ランス」が2012年にオープンしました。

日本の建築事務所 SANAA が設計したルーヴル・ランスは、開館以来500万人を超える来場者を記録し、大きな成功を収めています。フランス国内の美術館としては、パリ以外で来場者数が3番目に多い美術館です。その特徴は、エレガントで透明感のある建築様式であり、周囲の自然と見事に調和し、自然と文化が繊細に交わる空間を生み出しています。



時のギャラリー Galerie du Temps は、美術館の中心となる展示室で、200点を超える傑作を通じて、5,000年にわたる芸術の歴史をたどる、他に類を見ない体験を提供します。2024年12月には、新たに200点の作品が加わり、展示方法も一新されることで、さらに深化した没入感が味わえるようになります。



文化の中心地としてのルーヴル・ランスは、単なる美術館にとどまらず、多様な文化体験を提供する都市のような場所です。企画展に合わせて、演劇やコンサート、講演などが開催されます。ガラス張りのパビリオン Pavillon de Verre では美術館の運営や作品の保存修復作業を間近で見学でき、収蔵庫では通常は非公開の収蔵品の一部が公開され、美術館の裏側を垣間見ることができます。美術館内には、レストラン、メディアライブラリー、アートパークも併設されており、単なる鑑賞体験を超えて様々な角度から芸術に触れ、充実した時間を過ごすことができます。





ルーベのラ・ピシーヌ
LA PISCINE DE ROUBAIX
芸術の館となったアール・デコ

歴史と建築：かつて市営プールだった建物を、美術館へと生まれ変わらせた「ラ・ピシーヌ」。この美術館は、1930年代に建てられたアール・デコ様式の建築をそのまま活かし、当時の独特な雰囲気をも現代に蘇らせます。建設当時のステンドグラスが柔らかな光を館内に注ぎ込みます。プールサイドには、さまざまな彫刻作品が展示され、水面に映るその姿は、光と影が織りなす幻想的な世界を作り出しています。

コレクションと展示：この美術館には、近代彫刻や絵画のコレクションが豊富に収蔵されています。クロデル、ロダン、ピカソなど、著名なアーティストの作品が展示されており、芸術と歴史を巡る魅力的な旅を楽しむことができます。さらに、ルーベがかつてフランスの繊維産業の中心地であったことを物語る、産業製品や織物も数多く展示されています。これらのコレクションを通して、芸術と産業、そして町の歴史が深く結びついていることを感じることができます。

LE MUSÉE HENRI MATISSE アンリ・マティス 美術館

色彩豊かなマティスの世界へ



カトー・カンブレジ Cateau-Cambrésis にあるアンリ・マティス美術館は、マティス自身が設立し、生前に自ら手がけた唯一の美術館です。1952年の開館以来、マティスの絵画、彫刻、版画、そして彼を代表する切り絵など、数多くの作品を所蔵し、世界でも有数のマティス・コレクションとして知られています。

近年、美術館は大幅な拡張工事を経て、展示スペースが1,000平方メートル拡張。新たなギャラリーや教育スペースが誕生し、より充実した作品鑑賞が可能になりました。特に注目すべきは、「私はどのように本を作ったか Comment j'ai fait mes livres」と題された、マティスが挿絵を描いた本の展示です。この展示は、彼のあまり知られていない才能の一面を垣間見ることができます。

この美術館は、マティスが生まれ育った土地にあり、彼とこの地域との深い結びつきを感じることができます。一方で、国際的な美術館との連携も積極的に行い、世界中の美術ファンを魅了しています。



3 伝統技術が織りなす食の芸術

地域の食とビール文化

GASTRONOMIE RÉGIONALE 郷土の 美食

心と体を満たす、大地の恵み

星付きレストランが奏でる、
郷土料理の新たな章



地元のシェフたちが、伝統的な郷土料理を独創的にアレンジし、古き良き味と革新的な要素を融合させた新しい料理を生み出しています。ポチュヴレシュ potjevleesch（肉をゼラチンで固めたフラマン地方の伝統料理）や、カルボナード・フラマン carbonade flamande（ビールで煮込んだ牛肉の煮込み料理）など、地域ならではの豊かな食文化が息づいています。

オー・ド・フランス地方では、地元で採れた新鮮な旬の食材を大切に、素材本来の味を最大限に引き出す料理が特徴です。マロワールチーズのタルト tarte au Maroilles は、この地方を代表するアペリティフで、素朴な雰囲気のレストラン「エスタミネ estaminet」で味わうことができます。

地域の特産品と市場

この地域は、600種類もの地元産チーズをはじめとする、数多くの手作り製品が揃う市場で知られています。パン、ペストリー、ジャム、シャルキュトリーなど、手作りの味が楽しめます。甘いものが好きな方には、アミアンのマカロンや、ミント飴「ベティーズ・ドゥ・カンブレ bêtise de Cambrai」、ドライフルーツを乗せたチョコレート「マンディアン mendiant」といった地元の伝統的なお菓子もおすすめです。

リールとアミアンの市場は、これらの多様な品々を一度に味わえる人気のスポットです。活気あふれる雰囲気の中で、生産者と出会う場としても最適です。



CHRISTOPHE DUFOSSÉ

クリストフ・デュフォッセ

ミシュラン2つ星、
グリーンスターも獲得



徹底的な地産地消主義

ビュヌ Busnes の緑豊かな庭園に、シャトー・ド・ポーリュウ Château de Beaulieu が静かに佇んでいます。17世紀後半に建てられた煉瓦と装飾的な石造りのそのファサードが、堀の水面に美しく映し出されています。カレー出身で長い間故郷を離れていたクリストフは、ベチューヌ Béthune とサントメール Saint-Omer の間にあるこのホテルレストランに居を定め、わずか2年の間に自身のレストランでミシュラン2つ星を獲得しました。



8ヘクタールの広大な敷地内には、自然の生態系を模倣した持続可能な農業であるパーマカルチャーを取り入れた1ヘクタールの菜園と果樹園が広がっています。レストランで使う果物や野菜の70%、そしてほぼすべてのハーブを自給自足しています。

私はシャトーの周りに自給自足できる完全な生態系を作りたいと考えています。」とクリストフは強調します。

「料理に関しては、地元産の食材が主役です。私はレストランのシェフでもあり、農家でもあると自負しています。食材は生きており、大切に扱い、粗雑に扱わな

いことが重要です。

アルク産 Arques アンガス牛などの特別な食材を扱いつつ、マロワールチーズのタルト、オパール海岸 Couteaux d'Opale のイチョウガニやマテ貝、ビュヌ産 Busnes のエシャロット、野菜と一緒に煮込んだ子羊のポチュヴレシュ potjevleesch、畑で収穫したアンディーヴなど、地元ならではの食材を特に大切にしています。常に地元産、旬の食材を使い、シンプルな料理に仕上げています。実際、自然が料理の調子を決めているのです。自然こそが真のシェフなのです。」

「料理とは、自然の恵みを最大限に引き出す試みです。大地が育んだ食材と向き合い、エネルギーと感動に満ちた一皿、一レシピを生み出すことなのです。」



シャトー・ド・ポーリュウ
Château de Beaulieu, rue de Lillers à Busnes
www.lechateaubeaulieu.fr



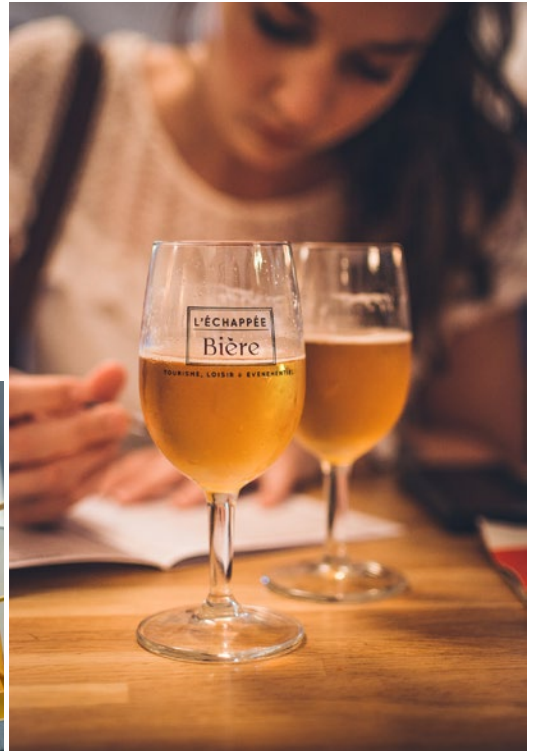
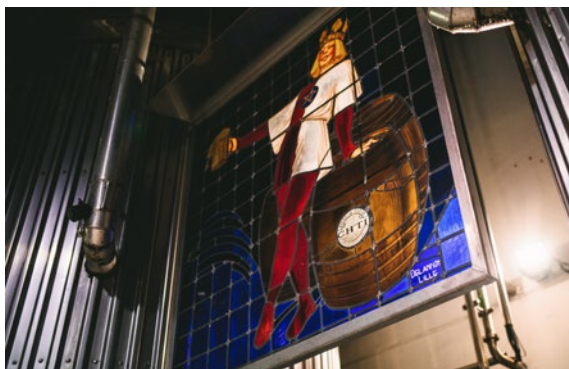
マイクロブルワリーも盛ん

BRASSERIES ET MICRO-BRASSERIES

再び脚光を浴びるビール醸造

ビール産業の復活

オー・ド・フランス地方は、現在 350 を超えるビール醸造所を擁し、フランス国内で 2 番目にビール生産量の多い地域となっています。ビール文化が根強く、ブロンドビールから琥珀色のビールまで、さらには地元の小規模ブルワリーが醸すクラフトビールまで、様々な味わいを楽しめるテイastingツアーも人気を集めています。



2025年から2026年にかけて、バイユール Bailleul に「シテ・ドラ・ビエール（ビール博物館）Cité de la Bière」がオープンし、醸造所見学やビール醸造のワークショップ、テイastingなど、ビールの世界を深く体験できる多彩なプログラムが提供される予定です。ビール愛好家にとっては見逃せない場所となるでしょう。

エスタミネでビールと料理の ペアリングを堪能する

「エスタミネ estaminet」と呼ばれる素朴な雰囲気のレストランでは、地元のビールと伝統料理を味わいながら、温かく心地よい時間を過ごすことができます。一部のエスタミネでは、料理とビールのペアリングを楽しむ特別なソワレが開かれ、各料理にぴったりのビールを味わいながら、食の魅力を存分に堪能できます。



毎年開催される「ホップの夜
La Nuit du Houblon」は、
地元のホップを祝うアットホームなイベントで、クラフトビールの試飲やコンサートが行われ、ビール愛好家だけでなく初心者も楽しめます。

4 大自然に抱かれて 緑と触れ合う観光ルートと独自の生態系

HORTILLONNAGES D'AMIENS アミアンの オルティヨナージュ

水上庭園と自然遺産



中世から続く水の楽園

アミアンのオルティヨナージュ Hortillonnages は、何世紀にもわたって手をかけ整備した島々から成る唯一無二の水上庭園で、300ヘクタールにわたり広がっています。複雑な運河網が張り巡らされ、渡り鳥や水生植物、農業の伝統を受け継ぐ人々など、豊かな生物多様性が息づいています。



オルティヨナージュ・フェスティバルと現代アート

毎年夏には、オルティヨナージュ・フェスティバル Festival des Hortillonnages が開催され、自然と現代アートが融合した特別な空間が広がります。

来場者はボートに乗って、運河沿いに設置されたインスタレーションや彫刻などの現代アート作品を鑑賞できます。これらの作品は、美しい景観を一層引き立てるとともに、この独特な生態系の保護の重要性を訴えかけています。このフェスティバルは、ヨーロッパ各地から訪れる自然とアートを愛する人々を魅了し、持続可能で環境に配慮した観光への地域の取り組みを示しています。



地域自然公園

LES PARCS NATURELS RÉGIONAUX

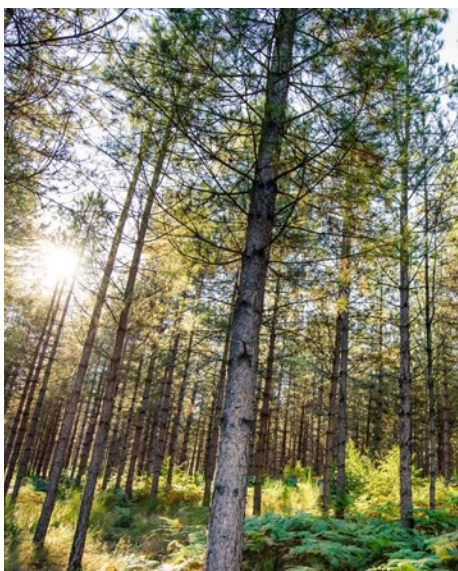
地域が誇る自然遺産

オー・ド・フランス地方の5つの地域自然公園 **Parcs Naturels Régionaux (PNR)** は、地域の豊かな自然と多様な生態系を保護する重要な役割を担っています。これらの公園では、ハイキングや自然観察を楽しむためのルートが整備されており、地域の自然環境を守るためのさまざまな取り組みが行われています。



PNR des Caps et Marais d'Opale **カップ・エ・マレドパール地域自然公園** 雄大な海沿いの崖と豊かな生態系の湿地帯が広がるこの公園では、ハイキングやバードウォッチングなどのアウトドアアクティビティを楽しむことができます。

PNR Scarpe-Escaut **スカルプ・エスコー国立地域自然公園** フランスで最初に誕生した地域自然公園で、森林や池を巡るルートが整備されています。歴史ある工業地帯や鉱山の風景も魅力の一つです。



PNR de l'Avesnois **アヴスノワ地域自然公園**

「北のスイス」として知られるこの地域は、田園風景と清流、そして広大な森林が織りなす、緩やかな丘陵地帯が広がり、アウトドアに最適です。

PNR Oise-Pays de France **オーズ・ペイド・フランス地域自然公園**

シャンティイの森に広がるこの公園では、保護された森林や農地の美しい風景を楽しみながら、ハイキングコースを散策したり、歴史的な建物を訪れたりすることができます。

PNR de Picardie maritime **ピカルディ・マリタイム地域自然公園**

この公園の中心にあるソムム湾 Baie de Somme は、アザラシの生息地として知られており、美しい自然が残された海の風景を堪能できる特別な場所です。



200kmの海岸線

200 KM. DE CÔTES

手つかずの自然が広がる美しい沿岸

オー・ド・フランス地方は、200kmにわたる変化に富んだ海岸線が広がっており、白砂のビーチから壮大な断崖まで、多様な景観を堪能できます。特にオパール海岸 Côte d'Opale は、グラン・スイット・ド・ドゥ・カップ Grand Site de Deux-Caps（双岬の大景勝）など、景観の素晴らしさで知られる場所が多くあります。晴れた日には、ブラン・ネ岬 Cap Blanc-Nez やグリ・ネ岬 Cap Gris-Nez の二つの断崖からイギリスの海岸線まで見渡すことができます。この手つかずの海岸では、ハイキングやウォータースポーツ、動物観察などのさまざまなアクティビティが楽しめ、特にソムム湾 Baie de Somme のアザラシの群れは見どころとなっています。



LE MARAIS AUDOMAROIS オードマロワ湿地 自然と農業が織りなす楽園

ユネスコによって生物圏保護区に指定されたオードマロワ湿地 Marais Audomarois は、湿地、草原、運河が入り混じった 3,700ヘクタールの広大な地域です。フランスで唯一、舟を使って耕作が行われる場所であり、地元の農家たちによって代々受け継がれてきた技術が守られています。カリフラワーやネギなどの野菜栽培に加えて、700種類以上の動植物が生息する豊かな生物多様性の宝庫でもあります。訪問者は、ボートに乗ってこの独特な環境を探索し、生産性と繊細さの両面を併せ持つ生態系を体感できます。自然を愛する人々にとって、この湿地はまさに貴重な場所と言えるでしょう。



ハイキングとサイクリング

RANDONNÉES ET CYCLOTOURISME

ありのままの自然を堪能する旅

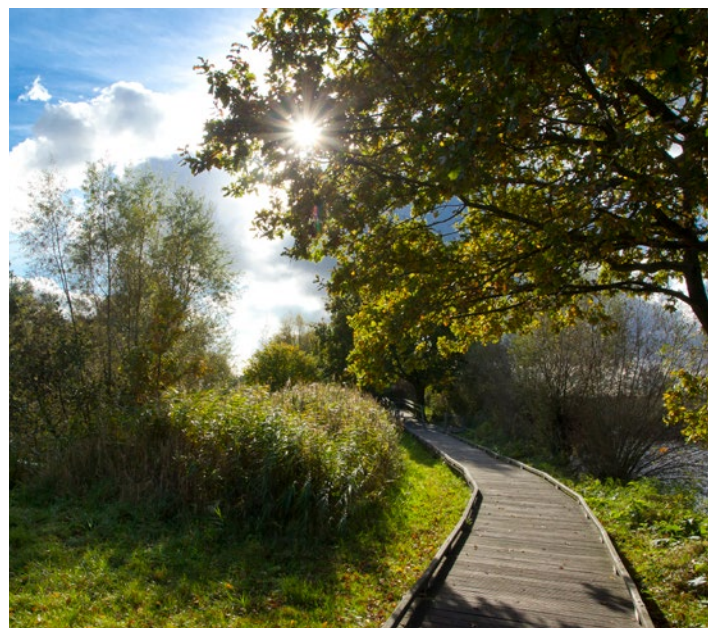


自転車道ネットワークとヴェロマリティム：

この地域には、全長 1,000km を超える自転車道が整備されており、海岸沿いや丘陵地帯、森林地帯の風景をゆったりと楽しむことができます。特に人気の高いルートの一つがヴェロマリティム Vélomaritime です。このルートは、170km に渡って海岸線を走り、英仏海峡の素晴らしい景色や絵のように美しい村々を訪れることができます。自然愛好家にとっては、息をのむようなパノラマ、自然保護区、そして保護地域など、数々の魅力が詰まったルートです。

フランドル地方の丘陵地帯と自然公園：

緑豊かな丘陵と伝統的な風車が点在するフランドルの丘陵地帯は、ハイキングや自然の中でのピクニックに理想的な環境です。また、カップ・エ・マレ・ドパール自然公園 Parc naturel des Caps et Marais d'Opale には、整備された遊歩道が整備されており、パノラマビュー、断崖、そして手つかずのビーチを見渡せます。この公園は、多様な生態系を持つ自然保護区であり、地域の生物多様性を守るために重要な役割を果たしています。





絶景 壮大な景観と心に響くひととき

CÔTE D'OPALE ET LE GRAND SITE DES DEUX-CAPS

オパール海岸と
双岬の大景勝

断崖絶壁と海の絶景

断崖絶壁と広大なビーチが織りなす圧巻の海岸線：200kmにわたるオパール海岸 Côte d'Opale は、細やかな砂浜、砂丘、そして断崖など、類稀な自然美を誇る海岸線です。この手つかずの自然の中に、「グラン・スイット・ド・ドゥ・カップ Grand Site de Deux-Caps（双岬の大景勝）」が広がっています。ブラン・ネ岬 Cap Blanc-Nez とグリ・ネ岬 Cap Gris-Nez という2つの壮大な岬が海に向かってそびえ立ち、晴れた日にはイギリスの海岸線まで見渡せる絶景が広がります。その広大さは、私たちが日常から解き放ち、自然の中に身を置く喜びを感じさせてくれます。

自然観察とリフレッシュ：ハイキングを楽しむ人々は、崖に沿って続くトレイルから素晴らしいパノラマビューを堪能し、イギリス海峡 La Manche と岩に打ち寄せる波の絶景に心を奪われます。ここでは、海を見つめるひとときが瞑想へと誘い、遠くの水平線と刻々と変わる光の陰影が、自然が生み出す絶え間ない絵画のような風景を作り出します。

手つかずの自然と豊かな生物多様性：グラン・スイット・ド・ドゥ・カップ Grand Site de Deux-Caps は、独自の生物多様性を誇る聖域です。海岸には、花が咲き乱れる草原や海鳥の群れなど、さまざまな自然が共存指定です。この海岸線は、深い青色の海、緑色の崖、そして刻々と変化する空の色とのコントラストが美しいことから、写真家にも人気のスポットです。息をのむような景観と素晴らしい眺望を持つオパール海岸は、まさに「絶景」という言葉がぴったりの場所であり、自然との深い繋がりを感じさせてくれます。

LE MARAIS AUDOMAROIS

オードマロワ
湿地

オードマロワ湿地とその豊かな自然

ユネスコが認めた自然の芸術作品：ユネスコ生物圏保護区に指定されたオードマロワ湿地は、自然がその大きさを最大限に表現している場所です。広大な水面、水に覆われた草原、葦が生い茂る運河など、壮観な風景が広がり、心ゆくまで自然に浸ることができます。700種類以上の動植物が生息するこの独特の環境は、地域の動植物を観察するのに絶好の場所です。

自然との一体感を味わう静寂の時間：静かに水面を滑る小舟から、緑豊かな植物の間をすり抜けるように進むと、時の流れを忘れるような穏やかな時間がそこには広がっています。季節ごとに変わる色彩と光は、湿地を生き生きとした絵画に変え、葦の葉をそよがせる音や水面に映る空の輝きは、瞑想と心のリフレッシュにぴったりな雰囲気を作り出します。



炭鉱地帯のぼた山

LES TERRILS DU BASSIN MINIER

産業から、自然と文化へ

ユネスコ世界遺産となった炭鉱跡地の奇跡的な変貌：かつて盛んだった炭鉱地域の象徴として、「ノール・パ・ド・カレの炭田地帯」としてユネスコの世界遺産に登録されたぼた山（炭鉱廃棄物堆積場）Terrils は、今や自然が息吹き返す丘へと生まれ変わっています。かつては鉱山の残滓の山だった場所が、今では、壮大な景色が広がるハイキングコースとして多くの人々を魅了しています。特に、地域で最も高いル・アン・ゴエル Loos-en-Gohelle の山頂からは、見渡す限りの景色が広がり、写真家や自然を愛する人々を魅了しています。

生物多様性の聖域：かつての炭鉱廃棄物が積み上げられたぼた山 Terrils は、植林や保全活動により、多様な動植物が共生する豊かな自然へと生まれ変わりました。野生の植物、鳥類、小動物などが息づくこの場所は、自然と産業の痕跡が融合した独特の景観を作り出しています。特にロワジノール Loisinord の旧炭鉱跡地はレジャーパークとして再開発され、夏スキーなどのユニークな取り組みによって、この産業遺産が新たな形で活用されています。散策するたびに新たな発見があり、自然と人間の創造性が融合した魅力的な空間が広がっています。

6 イベントとお祭り

2025年の見どころ



ツール・ド・フランス2025 リールがグランデパールの地に 世界が注目するイベント



● **リールから華々しくスタート**：2025年のツール・ド・フランスは、リールからスタートし、世界で最も名高い自転車レースの幕開けとなります。世界中から集結した数多くのプロサイクリストたちが参加し、数百万人の観客がテレビ中継で熱狂する一大イベントです。コースは、歴史的な建造物や象徴的なモニュメントを通過し、オー・ド・フランス地方の多様で豊かな文化遺産を世界に発信する素晴らしい機会となります。

● **メディアインパクトと国際レベルの注目度**：ツール・ド・フランスは190カ国以上で中継される世界的なイベントです。オー・ド・フランス地方でのグラン・デパールは、地域の景観だけでなく、伝統や温かいおもてなしを世界に向けて発信する絶好の機会となります。スタートを盛り上げるフェスティバルやイベントでは、地域の特産品、コンサート、ショーなどが行われ、来場者を楽しませることでしよう。

その他の文化的、伝統的なイベント



Braderie de Lille

リールの古物市：

ヨーロッパ最大の蚤の市、リールの古物市 Braderie de Lille は、毎年数百万人の来場者を迎えます。地元の伝統工芸品や特産品を探索し、活気あふれる雰囲気の中で本物の体験を楽しめるイベントです。音楽やショー、美味しい料理に囲まれ、地域の魅力を存分に感じることができます。



Festival des Cerfs-Volants de Berck-sur-Mer

ベルク・シュル・メールの凧揚げ祭り：

毎年春に開催されるこのフェスティバルには、凧を愛する人々が数千人集まります。オパール海岸の空は、形や色とどりの凧で埋め尽くされ、壮観な眺めが広がります。ワークショップやデモンストレーションでは、来場者がこの伝統工芸について学ぶこともできます。

プレスお問合せ

オー・ド・フランス地方観光局

広報・マーケティングディレクター

Estelle Réau

estelle.reau@hautsdefrancetourisme.com

中国及び日本市場担当

Ruying Wang

ruying.wang@hautsdefrancetourisme.com

Generous by nature



Hauts-de-France
Tourisme